

2026 年 10 月 16 日

お客さま、株主の皆さまへ

皆さまには、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび当行は、「株式会社 SBI 新生銀行を引受先とした第三者割当てによる C 種優先株式の発行」ならびに、「2027 年 3 月期通期業績予想の修正および有価証券の売却損の計上」について公表いたしました。これら一連の取り組みの趣旨について、ご説明申し上げます。

これまで当行は、「ローカルエンゲージメントの向上を目指すリージョナルバンクしまぎん」として、「お客さまのもとに足繁く通う」、「フェイス・トゥ・フェイス」の取り組みを進めており、地元向けの事業性貸出を順調に伸ばすとともに、ソリューション営業を強化し、事業先のお客さまに対する支援メニューを充実させるなど、本業は堅調に推移しております。

近時「金利のある世界」の到来にともない、運用資産を見直すことによって大幅な利回りの改善を見込める環境となりました。この構造変化を好機と捉え、当行の主要株主である SBI 新生銀行から 100 億円の増資を受ける予定であり、ポートフォリオを早期に再構築することを通じて、財務健全性と収益力の向上を実現いたします。充実した財務基盤を背景に、引き続き、地元のお客さまの多様化する課題を解決し、共に価値向上を果たすための地域金融力を一層強化してまいります。

今回の取り組みにより、2027 年 3 月期通期では一過性の経常損失、最終赤字の計上が見込まれるものの、次年度において 12 億円程度の当期純利益を計上、自己資本比率は 2026 年 3 月末の 7.09%から 9.0%程度への改善を見込んでおります。

お客さま、株主の皆さまには、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当行は今後とも、地域のお客さまの発展のため、地域に根差した「リージョナルバンクしまぎん」としての使命を全うし、役職員一丸となって邁進する所存でございますので、引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



取締役頭取

長岡 一彦

地域金融力の更なる強化に向けた資本増強について

2026年10月16日

株式会社島根銀行

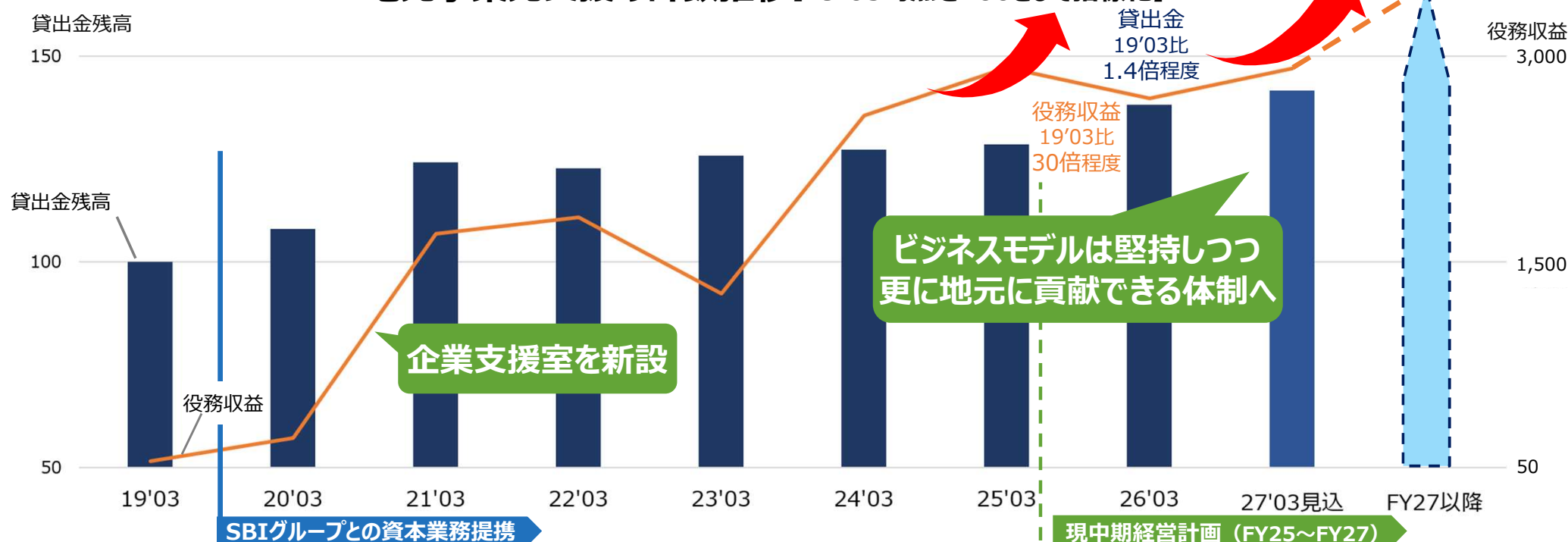
当行ビジネスモデルの中核「地元事業先の支援」

- 当行は「地域連携の向上を目指す地域に根差す銀行」として、「お客さまのもとに足繁く通う」、「フェイス・トゥ・フェイス」のビジネスモデルを基本とした様々な取組を進め、地域金融力の発揮に注力してきた。
- この結果、**地元向けの事業性貸出を順調に伸ばす**など、本業は順調に推移。
- また、2019年9月のSBIグループとの資本業務提携後は、事業先向けソリューションやノウハウ（事業承継等）の提供を積極的に推進。行内の司令塔として2020年12月には**企業支援室を新設し、ソリューション営業を大幅強化**。
新たな収益源となる事業性役務収益の基盤を整備。

地域金融力の発揮を企図した取組の例

事業の引継ぎ雇用維持	中心市街地の活性化	産業の新陳代謝	販路の拡大
(株)しまぎん地域事業投資 設立	しまぎんまちづくりファンド 設立	しまぎん地域活性化プロジェクトローン 新設	しまホ!での販路拡大支援

地元事業先支援の計数推移【19'03時点を100として指標化】



「金利のある世界」を収益力強化の好機と捉える

➤ 中期経営計画（2025～27年度）は、折り返し地点を迎え、**順調に進捗**。

- ① 次世代バンキングシステムによる窓口業務効率化・・・セルフ完結率※6割程度
- ② しまホ!預金の増加・・・・・・・・・・+300億円程度
- ③ 地元事業性貸出の拡大・・・・・・・・・・+50億円程度
- ④ 法人預金の増加・・・・・・・・・・定期預金+20%程度　　など

➤ 「金利のある世界」の到来は、その他有価証券の評価損を早期に処理することで得られる資金の再運用により**収益力を大幅に強化し、地域金融力を向上させる好機**。

外部環境	■ 政策金利の引上げ等を受け国内金利は上昇
内部状況	■ その他有価証券の評価損が拡大 ■ リスク管理の強化が不可欠 ■ 一方、中期経営計画の各種施策は進捗



**「金利のある世界」という構造変化を好機とし、
早期のポートフォリオ再構築を決断**

適切なALM・
リスク管理の下で

収益力の
大幅強化

※次世代バンキングシステムでは、店頭のタブレット端末と専用の現金入出金機（セルフキャッシャー）を連携させることで、お客さまが現金の入出金取引を自己完結することが可能。（一部、自己完結できない取引もあり）。当行では、実際にお客さまが自己完結した取引の割合を「窓口取引のセルフ完結率」として定義。

資本増強と収益力強化による地域金融力の向上

- SBI新生銀行からの100億円の増資(C種優先株式)によって、資本増強と早期のポートフォリオ再構築を実現。
- 今後、持続的な収益拡大による更なる資本の積み増しで、地域金融力をより一層強化し、地元事業先に対する融資を増強するとともに、地域の皆さまの課題解決・価値向上をもたらす各種支援を促進させる。

